

たいしゅうえんげき 大衆演劇

日光紅葉座では大衆演劇の公演をしています。

大衆演劇は江戸時代に歌舞伎をルーツに生まれた伝統芸能のひとつ。国籍も年齢も問わず楽しめる日本文化を学習しましょう。

日光紅葉座
NikkoMomiji-za

「歌舞伎と大衆演劇」

歌舞伎が伝統を重んじて、古来からの演目を守り続けている一方で、大衆演劇は時代ごとの流行を取り入れ大衆が楽しめるように変化してきました。

チケット代はお手軽に、演目は毎回変わり、毎日来ても毎回来ても楽しめるのが大衆演劇なのです。



「大衆演劇の役者たち」

大衆演劇の公演地は日本全国に100ほどあるといわれています。

日光紅葉座もそのひとつ。役者たちは、全国の公演地を舞台道具や生活道具をもって移動しながら公演をするのがお仕事です。

引っ越しと公演を繰り返してすごしています。

劇団・役者紹介

「劇団魁」

芝居でも、特に泣き笑いの人情芝居)を得意としています。

舞踊ショーは、見て楽しく、華やかな舞台をモットーに皆様に楽しんでいただく舞台を目指しています。

現代劇、新派、剣劇など、幅広く演じ、パワフルな舞台が魅力です。



二代目座長
南條たいき



三代目座長
南條はる雄



初代
南條みつ雄



南條千佳



南ゆう佳

公演内容

「舞踊ショー」

演歌や民謡だけではなく、海外からのお客様を迎えたときは洋楽も取り入れますし、若いお客様を迎えたときは最新のヒット曲も取り入れます。舞台衣装やメイクも、曲に合わせて、その場でアレンジをしています。



「お芝居」

台本は口伝えで引き継がれています。役者さんの頭の中には数百のお芝居の台本が入っているとも聞きます。毎日違うお芝居をするので、稽古も立ち回りやセリフ合わせも驚くほど速いです。



「日光紅葉座の公演」

通常の大衆演劇の公演は3時間から4時間。舞踊ショーとお芝居の組み合わせの公演を、昼と夜とに行うことが多いです。日光紅葉座では、観光地で観光のお客様に向けての公演を行うので、舞踊ショーとお芝居とを分けて、長くても1時間でそれぞれの演目が楽しめるように工夫をしています。また、夜に開いているお店がなく、日帰り旅行のお客様が多いことが日光の課題です。夜は宿泊のお客様に向け、夜公演を実施して宿泊で日光を楽しんでいただいています。

舞台衣装・化粧

「ふつうの着物屋さんでは買えない」

フードのついた振袖、透けた生地に羽根のかざりのついた着流しなど、普通の着物店では買えないような華やかで特別なデザインの着物が舞台衣装として登場することもあります。

化粧も男性が女性になる「女形」と、男性の姿「立役」とでは大きく変わります。

1回の舞踊ショーでは、女形になったり立役になったり、姿を次々と変えて、一人の役者さんが何度も登場することがあります。



巡業と子役の生活



「引っ越しと舞台と引っ越しと…」

大衆演劇の劇団は、公演地を変えながら、生活道具や舞台道具を持って全国を巡業しています。

だから、子役の役者さんたちは、毎月のように転校を繰り返して、舞台裏で生活することも多く、おうちで暮らすことが当たり前ではなかったりもします。

お友達との出会いと別れを繰り返しながら、幼いころから舞台に立つ生活をしています。